



さざなみ

理念

同愛記念病院は
地域の要請をふまえ
地区の基幹病院として
親切で適切な医療を提供し
社会に貢献します。

基本方針

- 私たちは、次により地区の基幹病院としての役割を果たしてまいります。
1. 地域に密着した救急医療及び「すみだ平日夜間救急こどもクリニック」を行います。
 2. 医療機関、施設、医師会等との連携を推進し、地域の医療及び福祉サービスの充実と向上に貢献します。
 3. 患者さんの権利を尊重し、インフォームドコンセントを充実させ、患者さんに寄りつた医療を行います。
 4. 職員は絶えず自己研鑽を行いより高い専門性を発揮できるよう努めます。
 5. 医療安全対策を強化し、信頼される医療を行います。
 6. 医療を通じて社会貢献を継続するために健全な病院経営を行います。

女性の健康をトータルにサポートする産婦人科医療

産婦人科部長 平田 哲也

同愛記念病院産婦人科は、地区の基幹病院として、これまで地元で密着した産科、婦人科診療をしてまいりました。平成31年4月より、さらに体制を強化し、内視鏡技術認定医、腫瘍専門医を迎え、これまでの地域に密着した産科医療、婦人科医療に加え、良性疾患を中心とした腹腔鏡手術を強化し、より広い地区から紹介患者さんを受け入れる診療科に生まれ変わろうとしています。

近年の女性の就業などの増加、晩産化、少産化に伴い、女性の健康にかかわる問題は大きく変化しています。また、社会において女性が能力を発揮することがますます求められる時代となりました。それと同時に、女性特有な疾患の増加が明らかになってまいりました。特に、子宮内膜症、子宮筋腫、子宮腺筋症といった生理（月経）に関わる疾患が増えています。これらの疾患は、月経痛の増悪や月経量の増加を引き起こし、また、不妊症の原因にもなります。そして、困っている症状によって、治療法が異なります。

私たち同愛記念病院産婦人科は、それぞれの患者さんの訴えにより、さまざまな薬物療法や、腹腔鏡下手術、子宮鏡下手術などの手術療法、不妊治療

などの選択肢から最も適切な治療法を選択していきます。子宮内膜症は、東京大学病院子宮内膜症外来で長年診療にあたったいた医師が担当します。腹腔鏡手術については、内視鏡技術認定医が担当し、多くの方々により早期に社会復帰できるよう診療にあたります。

また、子宮内膜症は、子宮や卵巣以外の部位に発症してしまうことがあります。これは、腸管子宮内膜症、膀胱子宮内膜症、月経随伴性気胸、臍部子宮内膜症などの「稀少部位子宮内膜症」といわれる疾患についても専門的な診療が可能となっています。2018年秋に、「稀少部位子宮内膜症の診療ガイドライン」が発刊されましたが、その作成に中心として従事した医師が対応いたします。

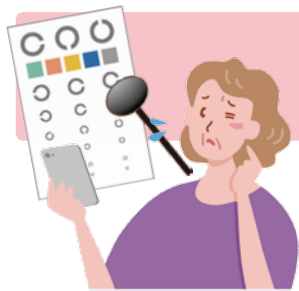
産科医療についても、経験豊富な医師と助産師が安心できるお産を提供しております。妊娠糖尿病をはじめ合併症を有する妊婦さんについては他の診療科と連携し、安心してお産を迎えられる周産期医療を提供します。従来から取り入れている3Dエコー、マタニティーヨガ、母親学級、母乳ケア、ベビーマッサージ、産褥ケアなども引き続き実践し、産科医師、小児科医師、助産師、看護師などのさまざまな医療

スタッフが一丸となり、妊婦さんが安心して分娩に臨み、不安なく育児がスタートできるようサポートに全力を尽くしております。新しい家族を迎える喜びを是非、同愛記念病院で分かち合いたいと思っています。

地域医療機関の諸先生方におかれましては、新体制となった同愛記念病院産婦人科を是非お知りおきいただき、相互連携を構築していきたいと思っております。

皆さま、女性の健康をトータルにサポートする同愛記念病院産婦人科をどうぞよろしくお願い申し上げます。





眼科のご紹介

眼科部長 平林多恵

皆様、こんにちは。平成31年4月から眼科部長を拝命した平林多恵と申します。眼科医としての今までの経験を生かし、患者さんの気持ちに寄り添った適切な治療を行い、地域医療に貢献したいと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

同愛記念病院眼科は、しばらく非常勤医師が外来診療のみ行っていた時期がありましたが、現在は常勤医師2名が白内障手術も行っております。

まず、眼科外来では、眼科疾患全般にわたっての診断と治療を行います。白内障、緑内障、ヘルペス性角膜炎、ドライアイ、糖尿病網膜症、網膜静脈閉塞症、加齢黄斑変性、ぶどう膜炎、強膜炎などさまざまな病気に対応しております。また、抗VEGF薬の硝子体内注射（加齢黄斑変性、網膜静脈閉塞症の黄斑浮腫、糖尿病黄斑浮腫などの疾患が適応）も積極的にっております。

次に、手術は火曜午後に手術室で行っています。白内障手術は、日帰りとし1泊入院の2つの形式で行っており、患者様の全身合併症と眼合併症を検討した上で、なるべくご要望に沿って選択していただけるようにしています。白内障手術は、ここ2、30年余りで手術方法と器械、眼内レンズが大幅に改良され、それによって手術の傷口はどんどん小さくなり、手術時間が短くなりました。当院でもほとんどの場合は点眼麻酔のみで、2.4mmという小さな傷口から手術を行っております。

人は、外界から得る情報の80%を視覚から得ていると言われております。目の病気によって、視力が下がったり視野が狭くなったりすると、情報を得ることが困難になり、生活の質（QOL：quality of life）が低下してまいります。目についての自覚症

状が全くない場合でも、緑内障などの病気を発症していることがありますし、高血圧や糖尿病の方は眼底出血を起こされていることがあります。人間ドックや地域の健康診断で眼底検査を受けられていない方、特に40歳以上の方は、目の健康診断として眼科を受診していただくことをお勧め致します。

外来診療は月曜日～土曜日まで、受付時間は午前8時30分から12時まで（ただし、土曜日のみ午前10時30分まで）です。

症状によっては、瞳（瞳孔）を広げる目薬をつけた上での眼底検査が必要になる場合があります。検査後は目のピントが合わなくなり、まぶしくて見えにくくなるため、乗り物の運転は大変危険です。受診される際には、ご自身で運転をする乗り物（自動車、オートバイ、自転車など）には乗ってこれないようお願い致します。

ご紹介状をお持ちでない患者さん、診察予約のない患者さんも、当日に診察を受けていただける体制を取っております。目について、何か気になる症状や不安がおありの際は、どうぞお気軽に受診なさって下さい。眼科スタッフと共にお待ちしております。



ホームページアドレス <http://www.doai.jp/>

〈診療科目のご案内〉

循環器内科、血液内科、糖尿病・代謝内科、腎臓内科、消化器内科、神経内科、一般内科、神経科・精神科、アレルギー・呼吸器科、小児科、外科、整形外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科

〈病床数〉403床

■交通案内

JR 総武線 両国駅（西口）から徒歩7分
都営地下鉄浅草線 蔵前駅から徒歩10分
都営地下鉄大江戸線 両国駅から徒歩5分
●都営バス（錦糸町～大塚駅）石原1丁目停留所から徒歩3分

当院では外来予約制です。

初診 / (月～金) 午前8時30分～正午 (紹介状のある方は午後3時)
(土) 午前8時30分～午前11時
再診 / ご予約のない方：自動再来受付機にて午前8時30分～正午
次回のご予約は診察後にお申し込みください。
休診日 / 日曜日、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)



社会福祉法人 同愛記念病院財団
同愛記念病院

〒130-8587 東京都墨田区横網2丁目1番11号
TEL. 03-3625-6381 (代) FAX. 03-5608-3211